

トラック輸送における  
取引環境・労働時間改善岡山県地方協議会  
令和7年度取組報告

令和8年4月  
トラック輸送における取引環境・労働時間改善  
岡山県地方協議会 事務局

# 第20回協議会での事務局提案事項 ①

## 事務局提案事項

第20回資料(抜粋)

昨年9月と11月に国土交通省が実施した調査では、物流の2024年問題に直面後も荷待ち・荷役時間は2020年度調査時と比べてほぼ横ばいとなっており、引き続き関係者全体で物流改善に取り組む必要性がある。

また、本年4月には改正物流効率化法及び改正貨物自動車運送事業法が施行され、荷主や物流事業者が物流効率化のために取り組むべき措置を講じることの努力義務化や、トラック事業者が荷主と運送契約を締結する際に契約内容を書面化し相互に交わすことなどが義務化される。

本年度、標準的な運賃が改正されたことに伴い、協議会では荷主関係団体への要請活動を実施したところではあるが、長時間の荷待ち・荷役時間の解消、関係者の物流効率化への取組、多重下請け構造是正によりトラック事業の取引環境・労働環境を改善していくためには、引き続き荷主や消費者への相互理解を求めていくことが必要である。

そのため、協議会として、荷主・消費者に向けて改正概要やトラック輸送を取り巻く現状の広報・周知や荷主関係団体に対して文書による要請活動を引き続き実施してはどうか。



運送事業の取引環境・労働時間改善について荷主等へ広く周知するため、日本経済新聞(中国版)に広告2本を掲載

# 広報・周知活動について

令和7年11月12日  
日本経済新聞掲載

暮らしと経済を支える  
トラック輸送

## トラック輸送は サプライチェーンの潤滑油!

物流はサプライチェーンの各工程を繋ぎ、原材料調達から製品配送までを支える役目を果たします。

●サプライチェーンの接続役

原材料の調達から製品の配送まで、各工程を物理的に結びつけ、工場、倉庫、小売店、消費者など、異なる地点間の移動を担う。

●ジャスト・イン・タイム (JIT) を支える

必要な物資を「必要な時に、必要な場所へ」届けることで、在庫の最適化とコスト削減に貢献。特に製造業では、部品の遅延がライン停止につながるため、トラックの正確な運行が不可欠。

●地域経済の要

地方都市や山間部など、鉄道や空港が整備されていない地域へのアクセスを担保。地域経済や中小企業の流通を支える存在。

トラック輸送における取引環境・労働時間改善岡山県地方協議会（厚生労働省 岡山労働局、国土交通省中国運輸局 岡山運輸支局、一般社団法人 岡山県トラック協会）

令和7年12月3日  
日本経済新聞掲載

## サプライチェーンを支える トラック輸送

～トラックが止まると、サプライチェーンも止まる!～

サプライチェーンは、原材料から商品が消費者の手に届くまでの一連の流れです。この鎖（チェーン）のどの部分が欠けても、私たちは日常の品物を手に入れることができません。その中でも、トラックや輸送業は、サプライチェーンの動脈として極めて重要な役割を担っています。私たちが日々過ごしている「当たり前」の生活を、見えないところで力強く支えているのです。

**荷主のみならず、これからも引き続きご理解・ご協力をお願いします!**

トラックドライバー不足、働き方改革など課題が山積する中での燃料価格高騰により運送会社の経営は危機に直面しています。問題解決のため、荷主様へご協力・ご理解のほどよろしく申し上げます。

「燃料サーチャージ」と「標準運賃」  
積み込みや荷待ち時間の削減  
有料道路利用料の支払い

詳しくはこちら

トラック輸送における取引環境・労働時間改善岡山県地方協議会（厚生労働省 岡山労働局、国土交通省中国運輸局 岡山運輸支局、一般社団法人 岡山県トラック協会）

# 第20回協議会での事務局提案事項 ②

## 事務局提案事項

第20回資料(抜粋)

### 【趣旨】

トラック運送事業の労働環境改善には人材不足解消が必要であるとして、本年度、協議会では物流企業合同説明会&トラック乗車会を開催し、雇用に繋がった企業もあるなど一定の成果があったところ。一方で、参加者からはトラック運転業務への不安を抱える意見もあり、トラック運転業務を正確に理解してもらうためには、トラック業界のネガティブなイメージの払拭や個社ごとの特性・魅力を知ってもらう必要がある。

また、トラック運転者の年齢構成比は全産業平均に比して高い傾向にもあり、継続的な雇用の確保による年齢層の平準化は物流を維持していくうえで必要不可欠と考えられる。

以上を踏まえ、協議会として実施する人材確保の取組を、本年度のみで終わることなく、関係機関が連携して継続的に実施していくことはどうか。



岡山県トラック協会主催の物流合同説明会&トラック乗車会を後援



# 第20回協議会での事務局提案事項 ③

## 事務局提案事項

第20回資料(抜粋)

岡山運輸支局による法改正の背景等情報の共有及び岡山労働局・岡山県トラック協会による運賃・料金の計算方法やトラックGメンに寄せられた運賃交渉を受けた荷主の反応事例について、情報を得ることで今後の運賃等契約交渉を円滑に進めることができるよう、トラック協会が例年開催している原価計算セミナー等の場を活用して説明してはどうか。



令和7年度に開催した「物流パートナーシップセミナーin備北」、「第2回物流を支えるパートナーシップセミナー」、「美作支部パートナーシップセミナー」「適正原価の実現に向けた『標準的運賃』活用セミナー」の場を活用し、トラック・物流Gメンに寄せられた情報や荷主の反応を提供。

# パートナーシップセミナーの様子

第2回

## 物流を支える パートナーシップセミナー

受講料 約200名 聴講 無料

トヨタ運輸事業は、「物流」の土壌と心を育てる。経済を支えるインフラである。しかし、豊後自動車（以下「豊後」）に加え、燃料価格等の急激な上昇により、ドライバー不足の深刻化が顕著となり、経営課題が顕著化している。2030年には、約3割の運転手が不足するとの試算もあり、今後の維持が懸念されていることから、豊後自動車、豊後運輸、一般運輸業の協働と協力により、物流を支えるパートナーシップを構築し、豊後に限らず、全国的に物流を支えるための取組を進めるべく、本セミナーを開催する。

日時 2025年11月18日(木) 会場 ホテルグランヴィア岡山 4階 フェニックス

受付 12:30-13:30 開演 13:30-16:00 場所 岡山県岡山市北区蒙元町1-5



### 物流パートナーシップセミナーin備北

- ・令和7年7月16日(木)
- ・新見文化交流館(まなびの広場)
- ・演題
  - (第1部)
  - 「トラック・物流Gメンの活動状況」
  - (第2部)
  - 「トラック運送業界の現状と最近の法改正について」



第1部 約10分

### 「岡山のトラック・物流Gメンの活動について」

講師 高坂 亮太 (たかば しょうた) 様

第2部 約90分

### 「これからのトラック輸送」

講師 京都大学大学院工学研究科(都市社会工学) 教授 藤井 聡 (ふじい さとし) 様

プロフィール

藤井 聡(ふじい さとし)氏  
京都大学大学院工学研究科(都市社会工学)教授、1968年奈良県生駒市立。京都大学卒業後、スウェーデンインテリノリ大学客員研究員、東京工業大学教授等を経て2009年より現職。2012年から2018年まで京大内閣内閣政策委員(防衛政策担当)に就任。専門は公共政策、都市「スーパー」都市設計が日本を代表する「新幹線とアソシアリズム」(グロブリーパランスと関係)「岡山のまちづくり」(大分県)のまちづくり、日本学術振興会特別研究員、東京Mxテレビ「東京からみんなの暮らし」(NHK)「NHK」KBS京都「NHK」等にて解説、講演者として活躍中。

主催 一般社団法人岡山県トラック協会、物流問題政策研究会

後援 岡山県、岡山労働局、中国運輸局、中国運輸局岡山運輸支所、中国経済産業局、中国国土交通省、山陽運輸社

### 美作支部パートナーシップセミナー

- ・令和8年2月25日(水)
- ・津山鶴山ホテル
- ・演題
  - (第1部)
  - 「今後のトラック行政の動きとトラック・物流Gメンの活動について」
  - (第2部)
  - 「下請法は取適法へ～改正ポイントの説明～」



第2回物流を支えるパートナーシップセミナーの参加者アンケートの結果では、「現状の構造的問題の背景がわかった(一般)」「普段聞けない内容であった(製造業)」など満足、やや満足が86%(第1回は90%)と高評価であった。また、「どの視点から見ても物流は必須。荷主として意識を高く持ち協力していきたい(メーカー)」などセミナーの意図が伝わっていることから第3回の開催を進める。

また、各地域においても荷主の皆様へ各種法改正の周知、ご理解とご協力が必要であることから、引き続き取り組む。